

	令和5年度行政事業レビューシート					(文部科学省)	
事業名	ポストスポーツ・フォー・トゥモロー推進事業			担当部局庁	スポーツ庁		作成責任者
事業開始年度	令和4年度	事業終了 (予定)年度	令和8年度	担当課室	参事官(国際担当)付		参事官(国際担当) 八木 和広
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	スポーツ基本法			関係する 計画、通知等	第3期スポーツ基本計画(令和4年3月25日策定) 経済財政運営と改革の基本方針2022(骨太方針2022)(令和4年6月7日策定) SDGsアクションプラン(令和3年12月策定)		
政策	11 スポーツの振興			主要経費	教育振興助成費		
施策	11-2 東京大会のレガシーを継承した持続可能な競技力向上体制の構築						
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20221215-mxt_kanseisk01-000026547-34.pdf						
事業の目的 (5行程度以内)	2020年東京大会の開催国として、スポーツを通じた国際交流・協力等に官民協力で取り組んできた「スポーツ・フォー・トゥモロー(SFT)」プログラムによるレガシー(裨益者数:204か国・地域、約1,300万人)を発展させ、国際的に日本のスポーツの存在感を示すとともに、国際的な課題である持続可能な開発目標(SDGs)の達成にも貢献するため、官民協力による取組を先導し、成果を国内還元する「ポスト・スポーツ・フォー・トゥモロー(ポストSFT)」プログラムを実施する。						
現状・課題 (5行程度以内)	スポーツ・フォー・トゥモロー事業は、東京大会に向けた国際公約として世界の国々に対して国際協力事業を実施し、スポーツの価値を広めた。また、官民の連携協力によりスポーツを通じて日本の存在感を世界に示した。SFT事業の下で構築された官民連携体制を東京大会の終了をもって終わらせず、ネットワークや経験・ノウハウを継続・発展し、東京大会のレガシーとして継承していくことが重要。そのために、SFT事業の継続実施にとどまらない、ポストSFT事業としての中期的な達成目標と事業戦略を立て実行していくことが課題。						
事業概要 (5行程度以内)	(1) SFTコンソーシアム(SFTコンソーシアム)のネットワーク継続・発展 SFT事業を通じて構築したネットワークを維持・発展させるため、国内会員/一般向けのプラットフォームを更に充実させるとともに、国際スポーツ界等への成果発信を通じて対外的な日本のプレゼンスの向上を図る。 (2) SFTコンソーシアム会員が実施する事業への支援 SDGs課題に主眼をおいた個別事業の展開 (3) 国際情勢に応じた海外アスリート等支援事業 日本及び近隣のアジア地域で競技大会に出場するために日本国内で行う事前トレーニング等に要する経費を支援						
事業概要URL	https://www.mext.go.jp/sports/content/20230120-spt_sseisaku01-000027027_1.pdf						
実施方法	委託・請負						
補助率等	-						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
	予算の 状況	当初予算(A)	-	-	178	205	205
		補正予算(B)	-	-	-	-	
						-	
						-	
						-	
						-	
						-	
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	
		予備費等(E)	-	-	-	-	
	計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	-	-	178	205	205	
	執行額(G)				158		
	執行率(%) =(G)/(F)		-	-	89%		
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]		-	-	89%		
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)		スポーツ振興費		-		
		(目)	スポーツ振興事業委託費	203		203	
		(目)	職員旅費	2		2	
			その他				
	計(A)		205	205			

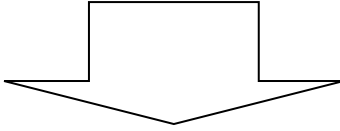
活動内容① (アクティビティ)		(1)SFTコンソーシアム(SFTコンソーシアム)のネットワーク発展 事務局運営、SFT事業を通じて構築したネットワークを発展さえるための会員プラットフォームの拡充や国際スポーツ界等への情報発信									
↓											
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
		SFTコンソーシアム事務局を中心とした 会員ネットワークの発展	SFTコンソーシアムの会員数 (累計)	活動実績	団体	-	-	62	-	-	
				当初見込み	団体	-	-	30	90	120	
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	SFTコンソーシアムに加入した会員が官民ネットワークを活用して認定事業を実施するため。									
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 5 年度		
		SFTコンソーシアム会員による実施事 業の増加	SFTコンソーシアム会員が実 施する事業の数 ※R5年度より事業数について 計測可能になる予定	成果実績	件	-	-	-	-		
				目標値	件	-	-	-	60		
				達成度	%	-	-	-	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		SFTコンソーシアム会員による認定事業数									
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	本事業はコンソーシアムを軸とする官民ネットワークの活用により、スポーツを通じた国際協力による本邦の存在感発揮やSDGsの達成を図るものであるが、本事業終了後においても継続的な国際協力が自発的に実施されることが望ましいことから、会員による継続的な認定事業数を指標として設定する。									
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 令和 8 年度		
		SFTコンソーシアム会員による継続的 な事業の実施	継続して認定事業に取り組む 会員数	成果実績	件	-	-	-	-		
				目標値	件	-	-	-	40		
				達成度	%	-	-	-	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		令和7年度から令和8年度に継続して認定事業に取り組んだ会員数									
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由									
		-									
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由									
		-									

活動内容② (アクティビティ)		(2)SFTコンソーシアム会員が実施する事業への支援 SDGs課題に主眼をおいた個別事業の展開								
↓										
活動目標及び活動実績 ② (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		先進事例の横展開による知見と課題の共有と、新たな優良事例の創出	SFTのセミナーやカンファレンスへの会員団体の参加者数	活動実績	数	-	-	-	-	-
				当初見込み	数	-	-	-	300	300
↓	成果目標②-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	個別事業を通じて得られた知見や課題を広く会員に共有することで、SFTコンソーシアム会員による事業実施が促されるため。								
成果目標及び成果実績 ②-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 6 年度	
		SFTコンソーシアム会員による事業実施推進	SFTコンソーシアム会員が実施する事業の数	成果実績	数	-	-	-	-	
				目標値	数	-	-	-	60	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		事業委託先からの報告書、情報提供								
↓	成果目標②-2の 設定理由 (短期アウトカムからのつながり)	各会員が優良事例に取り組み、知見を積み上げることで指標やツールキットの活用に向けた環境整備や機運情勢に寄与するため。								
成果目標及び成果実績 ②-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 8 年度	
		スポーツを通じた社会課題解決および国際貢献	スポーツとSDG指標・ツールキットを活用したモデル事業数	成果実績	数	-	-	-	-	
				目標値	数	-	-	-	10	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		事業委託先とモデル事業創出について調整中であり、令和4年度に関しては成果実績なし。								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由								
		-								
		アクティビティ②についてアウトカムが複数設定できない理由								
		-								

活動内容③ (アクティビティ)		(3)国際情勢に応じた海外アスリート等支援事業 日本及び近隣のアジア地域で競技大会に出場するために日本国内で行う事前トレーニング等に要する経費を支援								
↓										
活動目標及び活動実績 ③ (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		国際情勢を踏まえた海外アスリートに 対する練習環境提供	日本国内におけるトレーニン グ等を支援した件数	活動実績	件	-	-	-	-	-
				当初見込み	件	-	-	-	5	
↓	成果目標③-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	支援したアスリートが本邦に練習・大会等で一定期間滞在する間に本邦国民との間での交流が期待できるため。								
成果目標及び成果実績 ③-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 5 年度	
		海外アスリート支援を契機とする国際 交流の振興	日本国内においてトレーニン グ等を支援した国・地域との 国際交流の件数	成果実績	件	-	-	-	-	
				目標値	件	-	-	-	2	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		トレーニング支援を実施したNF等からデータ収集								
↓	成果目標③-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	アスリート支援を実施した国・地域との国際交流を通じて、スポーツ分野において国際社会における我が国のプレゼンスの向上を目指す。								
成果目標及び成果実績 ③-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 - 年度	
		スポーツ分野における日本の国際的な プレゼンスの向上	-	成果実績	-	-	-	-	-	
				目標値	-	-	-	-	-	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		事業委託先による調査								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ③について定性的なアウトカムを設定している理由								
		国際社会における日本のプレゼンスについては、同事項を捕捉する適当な指標がなく、定量的な成果の把握が困難であるため。								
		アクティビティ③についてアウトカムが複数設定できない理由								
		-								

スポーツ庁
158百万円

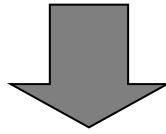
2020年東京大会の開催国として、スポーツを通じた国際交流・協力等に官民協力で取り組んできた「スポーツ・フォー・トゥモロー（SFT）」プログラムによるレガシー（裨益者数：204か国・地域、約1,200万人）を発展させ、国際的に日本のスポーツの存在感を示すとともに、国際的な課題である持続可能な開発目標（SDGs）の達成にも貢献するため、官民協力による取組を先導し、成果を国内還元する「ポスト・スポーツ・フォー・トゥモロー（ポストSFT）」プログラムを実施する。



委託【随意契約（企画競争）】

委託先：
A. （独）日本スポーツ振興センター 158百万円

SFTCネットワーク継続 （事務局機能含）		SFTレガシーリーディング事業			
コンソーシアムメンバーのネットワーク連	国内外ネットワークを活用した情報収集・分	①スポーツを通じたパートナーシップ推	②スポーツを通じたジェンダー平等推	③スポーツを通じた共生社会	④オリパラレガシー還元事業
事業効果の向上方策の検討・実践	国際スポーツ界等への成果発信・広報	「ASIA（強化拠点連合）」及びASEAN/パラ等での連携事業の実施（次世代アスリート交流、アーバンスポーツ等）	日ASEANスポーツ大臣会合の枠組みに基づく女性スポーツ協力事業の推進等	「GAME CHANGER プロジェクト」の経験や成果を還元する取組をスポーツ国際開発リカレント研修事業と連携して実施	SFTスポーツアカデミー修了生を活用した国内人材の育成、リカレント研修等



B. 再委託先（全4団体：53百万円）

学校法人順天堂（23百万円）、他3団体

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）
（単位：百万円）

費目・使途 (「資金の流れ」において ブロックごとに最大の金 額が支出されている者につ いて記載する。費目と 使途の双方で実情が分 かるように記載)	A.			B.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	再委託費	順天堂大学、福岡県ラグビーフットボール協会、田川市スポーツ協会、筑波大学	53	雑役務費	運営補助業務、Webページ作成	10.9
	雑役務費	システム保守管理費、HP・データベース改修費等	39	旅費	職員・講師等出張費	5.2
	人件費	契約職員人件費等	16	人件費	パートタイム職員人件費	3.4
	借損料	サーバー賃借、PCリース等	13	一般管理費	一般管理費	2.1
	諸謝金	講師謝金等	9	諸謝金	講師謝金等	0.8
	一般管理費	一般管理費	9	印刷製本費	バナー、報告書印刷費	0.6
	旅費	職員出張費	7	消耗品費	USB等	0
	印刷製本費	ガイドブック、最終報告書印刷費等	7			
	消費税相当額	消費税	2			
	通信運搬費、消耗品費	電話回線使用料等	2			
	計		157	計		23
費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載					チェック	

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	独立行政法人日本スポーツ振興センター	5011105002256	SFTCネットワーク継続・SFTレガシーリーディング事業	158	随意契約(企画競争)	1	100%	－

B

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	学校法人順天堂	8010005002330	スポーツを通じたジェンダー平等推進	23	随意契約(その他)	1	100%	－
2	特定非営利活動法人田川市スポーツ協会	3290805007893	スポーツを通じた共生社会推進	15	随意契約(その他)	1	100%	－
3	一般社団法人福岡県ラグビーフットボール協会	9290005018430	スポーツを通じたパートナーシップ推進	10	随意契約(その他)	1	100%	－
4	国立大学法人筑波大学	5050005005266	オリパラレガシー還元	5	随意契約(その他)	1	100%	－